

スポークスマン

From 中華人民共和国駐大阪総領事館

VOL.9 2021年11月

Spokesman From Consulate-General of The People's Republic of China in Osaka



読んで分かる『中国共産党の歴史的使命と行動価値』特別号

「すべての事物の発展はロジックに従っており、政党もまた然り。中国共産党の過去からその現在を解釈でき、未来をも見通すことができる」



近年、国際社会は中国と中国共産党への注目をますます強めています。2021年8月26日、真実で立体的で全面的な国際社会の中国共産党理解を助けるものとして、中国は『中国共産党の歴史的使命と行動価値』という重要な文献を発表しました。

これは現在の中国共産党と中国を理解するための権威ある書籍であり、中国共産党が全力を傾け人民のために奉仕する政党であり、理想の実現のためにたゆまず奮闘する政党であり、強大な指導力・執政力をもつ政党であり、一貫して旺盛な生命力と活力を維持している政党であり、人類の平和と発展のために貢献する政党であるということを皆様に伝えるためのものです。この文献の中には、日本の皆様が聞いたことのない多くの事実があり、真剣に読めば、全く新しい

中国共産党観を得ることができ、中国人民がどうして中国共産党から離れず見捨てずにいるのか、中国共産党の指導を確固として支持しているのかを理解することができ、さらには中国の成功のカギを探し当てることができるものと信じています。

領事館管轄地域の各界の友人方にこの文献をよりしっかり紹介し、皆様の中国共産党の百年にわたる発展史の全面的理解を助け、中日関係の改善・発展のために相互理解を積み重ね、誤解や誤った判断を消し去るために、大阪総領事館はこの特別号を制作しました。本刊は「人民の立場編」「理想と奮闘編」「団結と凝集編」「生命力と活力編」「平和と発展編」の5つのブロックからなり、文献の主な内容を一覧できるようにしています。

人民の立場編

「国は人民であり、人民は国であり、天下を得て国を守るということは、人民の心を守るということだ」

中国共産党は誕生の日から広範な代表性を持ち、中国の労働者階級を代表するだけでなく、中国人民や中華民族をも代表していた。共産党はいかなる自

己の特殊利益ももたず、いかなる利益集団、権勢団体、特権階級の利益をも代表することもなく、人民の幸福を求め、民族の復興を求めている。中国人民は本当に国家、社会、そして自分自身の運命の主人になり、幸福感や安全感は絶えず増強され、生存権・発展権は効果的に保障されたのだ。

人民の生活レベルは大幅に上昇

指標／年度	新中国成立初期	1980年	2020年
貧困発生率	人民の生活は赤貧状態	96.2%	現行基準で農村の貧困人口はすべて貧困から脱却
一人当たりの可処分所得	98元(1956年)	171元(1978年)	32,189元
平均寿命	35歳	67.8歳	77.3歳(2019年)
乳幼児死亡率	200‰	48‰	5.4‰
学齢児童入学率	20%	95.5% (1978年)	99.96%
15歳以上の人口の平均就学年数	80%以上の人口が文盲	5.3年	9.91年
高等教育入学率(概数)	0.22%	2.22%	54.40%

全過程人民民主

全過程人民民主は民主的選挙、民主的協議、民主的政策決定、民主的管理、民主的監督などの国家ガバナンスの実践において十分に体现されている。

2021年4月時点の全国各クラスの人民代表大会の代表は計262万人余りで、各民族・各業界・各階層・各党派の出身者であり、その中には多くの労働者や農民の代表がいる。2016年に始まった全国の県・郷の2つのクラスの人民代表大会の改選選挙において、登記された選挙民は10億人余りで、直接選挙により250万近くの県・郷2クラスの人民代表大会の代表が誕生した。

第18回共産党大会以来、合計でのべ187件の法律草

案が社会に向けた意見募集がなされ、のべ110万人程度が300万余りの意見・提案を寄せ、多くの重要な意見が採用された。民法の編纂過程では、10回にわたって社会に向けた公開意見募集が行われ、合計で42万5000人から102万余りの意見を受け取った。





全力で新型コロナウイルスと戦う

新型コロナウイルスの発生後、中国共産党と中国政府は人民至上、生命至上を堅持し、迅速に患者の治療、一斉検査、ワクチン接種を行い、一人の感染者も漏らすことなく、どの患者も見捨てることなく、あらゆる代価を惜しまず、人民の生命の安全と身体の健康を守った。

患者の無料治療を実施した。新型コロナウイルス肺炎患者の医療費は、基本医療保険、高額医療保険、医療支援などを規定通りに支払った後、個人負担部分については政府財政からの補助が行われた。感染者一人あたりの医療費は約2万円で、中でも重症患者の一人当たりの平均治療費は15万円を超え、危篤患者の治療には十万元ひいては百万元以上かかるケースもあり、これらはすべて国が負担した。

大規模な無料PCR検査とワクチン接種を行わ

れた。2021年7月時点で、全国の医療衛生機関で採取された新型コロナウイルスのPCR検体は累計22億人分を超え、2021年10月時点で、新型コロナウイルスのワクチン接種はのべ22億1456万4000回行われている。この費用はすべて国が負担している。



最新動向 1

市長ホットライン——人々のために実際に役立つことを

2021年9月24日、人民大衆が今現在困っている問題に時をおかずに応えるため、大衆に社会ガバナンスや公共政策の制定に参加するための情報提供と効果的な手段を提供するため、「北京市の相談即時対応条例」が実施され始めた。これは中国国内で初めての相談受け入れ、即時解決に関する地方条例である。



市民が電話で相談すれば、すべて受け入れてもらえるの？ そうなんです！ 条例は12345サービスホットラインを相談の主な窓口とし、市民のホットラインサービスの受け入れ機関は音声や文字などの方法で、全面的・正確・規範的に相談が寄せられた時間とその内容、連絡方法などの内容を記録し、相談伝票をつくりあげる。問い合わせや援助要請、苦情申し立て、通報、提案などのさまざまなタイプの相談を状況別に処理するものだ。

この条例では、相談が寄せられたらすぐに処理を実行する「最初に受理した者が責任を負う」制度、相談伝票を受け取った組織は責任を転嫁することは許されないことを明確にしている。最初に相談を受理した組織が「単独で戦う」のではなく、その相談が他の組織に関係するものであれば、最初に受理した組織が音頭をとり調整して処理し、その他の関係組織はそれに協力しなければならず、規定された時間内で、処理結果を最初に受理した組織に報告し、時間通りに処理できなかったらその理由を説明し、段階的な進行状況を報告しなくて

はならない。

この条例では、審査・評定制度は実際に即す、客観的で公正、科学的で規範的、督促と奨励とを結合させるという原則に基づき、反応率・解決率・満足度を中心的内容とし、相談内容の解決をその

方向性として、相談受理、伝票送付、処理、自発的管理などの相談対応業務の全過程について、クラス別・種類別の審査・評定を行い、その結果は政府の業績評価の査定にも反映されることを明らかにしている。

理想と奮闘編

「心に信仰があれば、足に力が入る」

奮闘は中国共産党の鮮明な資質だ。中国の革命・建設・改革は、複雑な国内外環境の中で進行し、その道は険しく、山積する難問は世にも稀なほどで

あった。ここ100年の間、共産党は多くの困難に遭遇し、生死の試練を潜り抜け、壮烈な犠牲を出しながらも、終始信念を守り通し、止むことなく奮闘したのである。

マルクス主義との出会い

近代以降、民族の独立と人民の解放を勝ち取り、国家の富強、人民の幸福を実現することが中国人民の歴史的任務となった。旧式の農民戦争はすでに未来はなく、封建制の基礎に抵触しない自強運動と改良主義は壁にぶち当たり、資産階級の革命派が指導する革命と西洋の資本主義のその他さまざまな方法は次々と破綻した。ロシアで十月革命の砲声が鳴り響き、中国にマルクス・レーニン主義がもたらされると、

祖国を滅亡から救う道を探し当てるのに苦労していた中国人民に、前進の方向、全く新しい選択肢が指し示された。

陳望道は『共産党宣言』を中国語に全訳した初めての翻訳者で、日本に留学していた期間中にマルクス主義を知り、理解し、熟知し、そして受容した。日本から帰国後に五四新文化運動の洗礼を受け、彼は「制度という根本からの変革を行わねば、あらゆる改良措置がすべて徒勞・無益に終わる」ことをさら

に深く悟るに至った。粗末な小屋の中で、陳望道は作業環境の悪さや翻訳における困難を乗り越え、日本語版と英語版を互いに参照しながら、「普段の翻訳書の5倍もの労力をかけ、ようやく全文を完全に翻訳した」。『共産党宣言』が出版されると、すぐに労働者階級や先進的知識人の熱狂的な歓迎を受け、反響は極めて大きく、初版として印刷した千冊はたちまち売り切れてしまった。





最新動向2

第一回中国共産党人の精神系譜として採用された偉大な精神

百年もの間、中国共産党は偉大な建党精神を発揚し、長期にわたる奮闘のなかで、中国共産党人の精神系譜をつくりあげ、鮮明な政治的品格を練り上げていった。2021年9月29日、第一回中国共産党人の精神系譜に採用された偉大な精神が発表された。紙幅が限られているため、まずその一部をピックアップしてここに紹介する。

【ソビエト区精神】

1931年11月7～20日、中華ソビエト第一次全国代表大会が江西の瑞金で開かれ、中華ソビエト共和国臨時中央政府の成立が宣言され、中国共産党が指導する革命根拠地の建設と共産党政権樹立の新たな一ページが開かれた。「ソビエト区の幹部は態度が極めて良く、自ら食品を携帯して仕事に赴き、日中はわらじを履いて革命の仕事をし、夜は灯籠を持って貧しい農民のもとを訪れた」。今に至るまで歌い継がれている興国山歌は、中国共産党人の優れた態度と苦勞を厭わず奮闘する精神を示したものだ。



【沂蒙精神】

新中国成立初期、山東省沂蒙山区は山岳地帯で、土壌の質も悪く、しばしば川が氾濫していた。沂蒙の人民は素晴らしい生活への憧れを胸に、革命戦争期に打ち立てられた沂蒙精神を続けて発揚し、沂蒙山区を1960年代に全国農業先進地区の一つとした。その典型が毛沢東同志に「愚公山を移し、中国

を改造する」と褒め称えられた厲家寨だ。

1950年代初め、厲家寨は全村の6000ムー（1ムーは15分の1ヘクタール）余りの耕地が山や川や谷によって細かく分断されていて、中には十数個の耕地を寄せ集めてようやく1ムーになるというものもあった。それに加えて水や土壌の流出が激しく、こうした土地は干ばつにも洪水にも弱く、生産量が極めて低かった。1951年12月、厲家寨の共産党総支部は人々を率いてふるさとの改造を始めた。数年の懸命な努力を経て、厲家寨には三つの峰にトンネルが掘られ、11の峰の頭が削られ、21の大きな池と300余りの水路が埋められ、12本の小川を改修し、千にものぼる分散した小さな土地を、高地を削り低地を埋めて、118の大きな土地として整備し、耕地面積を192ムー増やし、8年前倒して農業発展計画綱要の目標を実現した。



【女子バレーボール精神】

1972年、中国女子バレーボールチームの初期の集中訓練地は、福建省漳州に臨時に造られた竹製の建物であり、地面はたたき土で、転がると砂利が肉に挟まり、選手は練習が終わると医務室で洗って砂を取り出してもらった必要があった。40年余り前の竹製の建物はもはやないが、旧世代のバレーボール人たちは壁の上に貼られた「転がって泥まみれとなり、幾度も皮をすりむき、いかなる苦勞も恐れず、技や戦術の特訓をし、高峰に登らんとす」というスローガンをみな覚えている。

40年前の1981年11月、日本の大阪で開かれた第三回ワールドカップバレーボールで、中国女子バレーボールチームが優勝した。この後、中国女子バレーは史上前例のない五連覇を達成し、団結して戦い、鋭意進歩を求める中国の国家イメージを世界に示し、全国人民の団結心、中国振興の自信と決心を大いに鼓舞した。

40年後、中国人はさらに自信をもち、より開放的な大国の精神で世界と向き合い、中国女子バレーは新しい時代の精神と風采をみせている。自信あふれる姿と祖国至上、団結協力、粘り強い戦いぶりや負けん気を見せている。中国女子バレーボール元選手ヘッドコーチの郎平が言うように、「女子バレーボール精神は優勝を勝ち取るというものではなく、時には勝てないと分かっている

でも、全力を尽くすことだ。ずっとふらついて歩いていても、立ち上がり、身を震わせて体の土を振り払い、依然として確固とした闘志をみせているというものだ」。



団結と結束編

「団結は鉄であり、団結は鋼であり、団結こそ力である」

中国は巨大で、人口が多く、国情が複雑で、独立と発展と富強を求めており、頑強で力のある指導力を必要としている。中国共産党はそのような大党であり、中国のような大国の何億もの人民を団結・結束させるには、一回一回急流や早瀬を超え、一回一回困難や危機に打ち勝たねばならず、そのカギは党が大いに団結・統一され、強大な指導力・執政力を持っているということだ。

集中・統一された指導という政治的強みは、党が長期的戦略に基づく段階的目標の制定ができ、効果的に全体利益と部分利益、長期的利益と目前の利益を調整し、各方面を団結させて共同目標の実現のために共に努力させ、国家の法律・政策もまた安定的に一貫して実施できることにある。さまざまな時期に段階的目標が制定・実現され、中国は数十年がまる一日であるかのように前進・発展し、社会主義現代化の目標を一步一步現実のものとしてきた。

民主集中制

民主集中制は中国共産党の根本的な組織原則・指導制度である。『党規約』は民主集中制に以下の6つの基本原則を提示している。1. 党員個人は党組織に従い、少数は多数に従い、下級組織は上級組織に従い、全党各組織と党員全体は党の全国代表大会と中央委員会に従う。2. 党の各クラス指導機関は、彼らが派遣する代表機関と非党組織の中の党組織を除き、すべて選

挙によって選び出される。3. 党の最高指導機関は、党の全国代表大会とそれが選び出す中央委員会である。4. 党の上級組織は常に下級組織と党員・大衆の意見を聴取し、彼らが提起する問題をすぐさま解決する。5. 党の各クラス委員会は集団指導と個人分担責任制を結合させた制度を実行する。6. 党はいかなる形式であっても個人崇拜を禁止する。



中国共産党の組織構造

中国共産党の準備・発足は、「強固で精密な組織を成立させる」という目標のもとに行われた。長期的な発展を経て、党は中央組織・地方組織・末端組織からなる科学的で厳密な組織システムをつくりあげた。

党の最高指導機関は党の全国代表大会とそれが生み出す中央委員会で、中央委員会・中央政治局・中央政治局常務委員会が党の組織システムの脳・中枢にあたり、党中央が党の大政方針を制定し、最高権威をもつ最終決定者である。

党の各クラスの地方組織は、党中央が決定した政策手配を地方において徹底的に実施することを担当し、基層部や党員の意見・提案を党中央に送り、上からの指図を受けて下へと伝達し、政令をスムーズに実現させる重要な部分にあたる。

486万余りの末端党組織は党という有機体の「末梢神経」で、党中央と上級党組織が政策決定・手配したものを末端に至るまで徹底的に実行させ、さらに党員と大衆の意見・提案を集めて

反映させる役割をもつ。9500万人余りの党員は末端組織の中で、模範的役割を担っている。

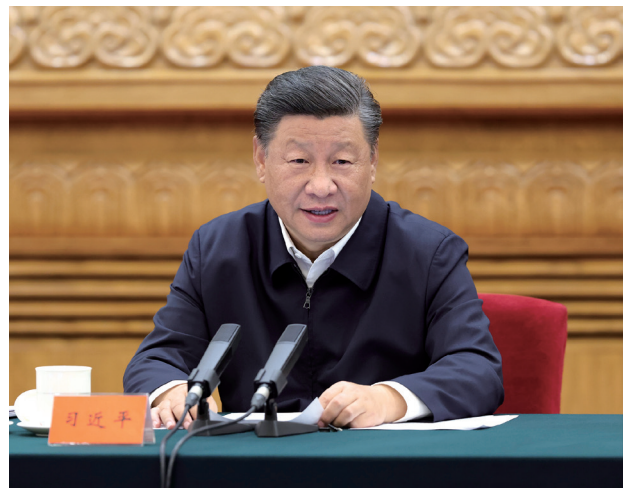
こうした広範で厳密で堅固な組織システムにより、党中央は手足の如く、意のままに効果的に指揮することができるだけでなく、党の大政方針と政策決定・手配を、時を移さず、内容を変えることなく、末端まで徹底的に実行させることができ、さらには党組織と党員を深々と人民の中に根付かせ、党の執政の基礎を絶えず固めていくことができるのだ。



最新動向3

中央民族工作会議が開かれる

中央民族工作会議が8月27～28日に北京で開かれた。中国共産党中央総書記で国家主席・中央軍事委員会主席習近平が会議に出席し、重要な演説を行い、党の民族事務の重要思想の強化・改善を正確に把握して全面的に貫徹し、中華民族共同体意識をしっかりと固めることを大筋とし、中国の特色ある民族問題解決の正確な道を断固として歩み、中華民族が共有する心のふるさとを構築し、各民族の交流と融合を促進し、民族地区の現代化建設の歩みを急ぎ、民族事務とガバナンスの法治化レベルを高め、民族分野の隠れたリスクを防止・解消し、新時代の党の民族事務の高品質発展を推進し、全党全国各民族人民を動員し、全面的な社会主義現代化強国をつくりあげるという二つ目の百年奮闘目標の実現のために団結して奮闘しなければならないと強調した。



習主席は、党の民族事務の革新と発展のためには、正確さを堅持し、時代遅れのものを調整し、各民族大衆の合法的權益をよりしっかりと保護する必要があると指摘した。共通性と差異性との関係を正確に把握する必要があり、共通性を増やし、

差異性を尊重し受入れることは民族事務の重要な原則である。中華民族共同体意識と各民族意識との関係を正確に把握する必要があり、各民族が終始中華民族の利益を第一におくよう導き、自らの民族意識を中華民族共同体意識に従わせ奉仕させるべきであり、同時に中華民族共同体の全体利益の実現過程の中で、各民族の具体的利益を実現させる必要があり、大漢族主義と地方民族主義はどちらも中華民族共同体建設に不利なものとなる。中華文化と各民族文化との関係を正確に把握する必要

があり、各民族の優れた伝統文化はすべて中華文化の一部であり、中華文化が幹、各民族文化が枝葉であり、根を深く張って幹が太くなることではじめて枝葉を繁らせることができる。物質と精神との関係を正確に把握する必要があり、あらゆる改革・発展に中華民族共同体意識を際立たせる意味、統一を維持し分裂に反対する意味、民生を改善し人心を結束させる意味を与える必要があり、中華民族共同体を壊れることのない頑丈なものとしなければならない。

生命力と活力編

「中国共産党は中華民族の永遠の偉業を志しており、百年はその序章に過ぎない」

革命者は永遠に若い。共産党は百年の厳しい時を経て、いまだ時代の最先端を行き、青春の活力を保っていて、党は人民が偉大な社会革命を行うこと

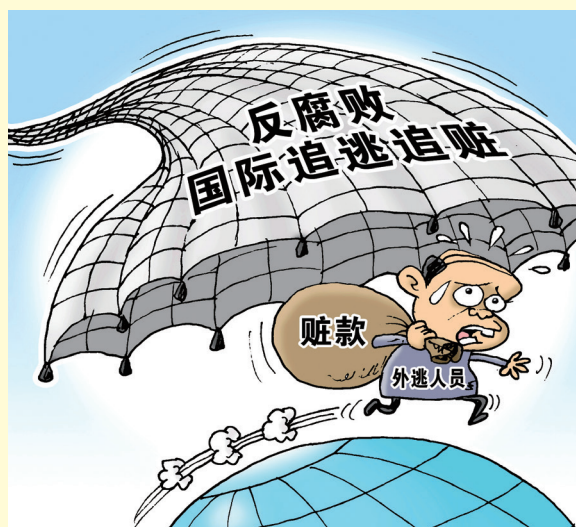
を導くことができた以外にも、偉大な自己革新を行うこともでき、終始党は自身を全面的に厳格に管理して、時代と共に自己浄化・自己改善・自己革新・自己向上を推進し、一貫して健康的で生き生きとした活力ある組織機構を保持している。

党組織を絶えずクリーンに

党員は党の活動の主体である。共産党は党員の組織作りを非常に重視しており、数を増やすと同時に質を上げ、時期ごとに入党条件やその手順に変化はあっても、つねに党員に対する要求はとて高く、入党手順はどれも極めて厳格だ。共産党員となるために、身分や学歴、財産などの要求はないが、とて厳格な政治的・道徳的要求がある。入党申請には厳格な手続きを踏む必要があつて、厳しい教育と厳格な審査を経た後、はじめて正式に党員になることができる。党は一貫して党員の教育管理を重視しており、さまざまな出自の党員を党の大きな「るつぼ」に入れ、揺ぎなき共産主義戦士に鍛え上げるのだ。

第18回党大会以降、党内の腐敗問題が比較的深刻な状況が続いたため、党は「何千何百人の罪を問うても、14億人の期待に背かない」という意志のもと、劇薬による治療、厳しい罰則による整頓を決意し、骨を削いで毒を取り去り、腕を切り落として命を守る勇気により、反

腐敗にはタブーはなくあらゆる範囲に及び、容認されるものはないという原則を堅持し、断固として大物も小物も経済犯も追及し、全国の紀律検査監察機関で計408万9000人が立件・審議・調査され、そのうち453人が副部長級以上の幹部で、党規政務処分を受けた者は計374万2000人に及んだ。





中国共産党中央政治局の集団学習

中国共産党は学習型の政党だ。党の性質と担っている使命は、党が学ぶことを重んじ、学ぶことに長じ、常に学ぶことを求めている。常に発展・変化する情勢や任務に対し、党は一貫して学徒でいることに甘んじ、大衆に学び、実践に学び、歴史に学び、他人に学んでいる。

中国共産党中央政治局の定期学習制度は、全党に重要な率先的・模範的役割を果たしている。中国共産党中央総書記が主宰して講演を行い、中央政治局の全員が参加し、関係部門の責任者や専門家を招いて、経済・政治・歴史・文化・社会・科学技術・軍事・外交などの問題について特別講義を行ってもらうものだ。第18回中央政治局は計43回の集団学習を行った。

2021年7月30日時点で、第19回中央政治局は計32回の集団学習を行っている。学ぶことを重んじ、学ぶことに長じているため、党は常に発展・変化する情勢に適応でき、新しい観念を打ち立て、新たな能力を得て、新しい問題を解決することができるのである。



最新動向4

「知識が足りず、視界が狭く、能力が足りなければ、事を成し遂げることができない」

2021年中央党校（国家行政学院）中青年幹部育成クラス秋学期が9月1日午前中央党校で開講した。中国共産党中央総書記で国家主席・中央軍事委員会主席の習近平が開講式で重要な講演を行い、「偉大な時代に生まれた若い幹部は、党と国家事業の発展の新鋭軍であり、自分を高め、教養を増やし、堅い信念を持ち、党に忠誠心を抱き、

実際に重んじ、実際に即して正確な方法を見つけ出し、担う勇気を持ち、行動することに長け、原則を堅持し、闘志を持ち、決まりを守り、道徳的ボトムラインを超えず、刻苦勉励し、能力を高め、大きな仕事や重任を担うことのできる大黒柱たる人材となるように努め、党と人民の期待と重大な使命に背かないようにしなければならない」と強調した。

習主席は党員幹部に対し、絶えず学びを強化するよう明確な要求を出し、「われわれはいまだかつてない変革の時代におり、誰もやったことのない偉大な事業を行っていて、知識が足りず、視界が狭く、能力が足りなければ、事を成し遂げることができない。若い幹部は精力的で、思考は活発で、受容能力が高く、能力や才能が今まさに伸びている最適な時期にあるため、時間を惜しみ、青春時代を無駄にせず、飢えているが如く学び、一刻たりとも休まず向上すべきである。『詰め込む』『掘り下げる』精神を発揚し、たくさん良い本を読み、本の中から知恵と栄養を吸収すべきである。仕事の必要と



結びつけて学び、しなければならないことを学び、欠けていることを補うべきである。マルクス主義理論、特に新時代の党の革新理論、そして党の歴史、新中国史、改革開放史、社会主義発展史、さらには経済・政治・法律・文化・社会・管理・生態・国際などの各方面の基礎知識を学び、仕事に関係する新知識や新技能を学び、職務を遂行するために必要な知識体系を絶えず完全なものとしていく必要がある」と強調した。

平和・発展編

「平和は空気や陽光のように、恩恵を受けていてもそれを感じないが、失えば生存が難しい。平和がなければ、発展は語りようがない」

中国共産党は苦難の中歩み続け、民族独立と人民解放を勝ち得るために多くの苦勞を重ね、平和を得ることは生易しいことではないことを深く知ってお

また、習主席は、「本当の知識は実践から生まれ、実践こそ真の才能を育むものである。経験の中に学び、学ぶ中で経験することを堅持することこそ、指導幹部が成長し役立つために通らねばならない道である。同じ実践でも、本当に身を入れているかどうか、総括的思考に長けているかどうかによって、収穫の大小、成長の速さは異なる。ただ忙しく、機械的に処理するのでは、事務主義に陥り、認識と業務レベルを向上させるのは難しい」と指摘している。

り、終始正義の旗のぼりを高く掲げ、平和を支持し、戦争に反対し、民主を支持し、強権に反対し、多国間主義を支持し、一国主義に反対し、世界平和を確固として維持し、国際公平と正義を確固として維持し、世界の平和を守るため、積極的に中国の智慧とプランで貢献している。

「一帯一路」

「一帯一路」は人類運命共同体構築を推進する重要な実践プラットフォームである。高品質な「一帯一路」共同建設は、平和協力、開放・包括、相互学習、互惠ウインウインのシルクロード精神に導かれ、政策の疎通、施設の繋がり、スムーズな貿易、民心の通じ合いを重点として、共に協議し、共に建設し、共に享受するという原則のもと、開放・グリーン・クリーンという理念を堅持し、ハイレベルで民生に役立ち、持続可能という目標の実現に努め、それはすでに理念から行動へ、願いから現実へ、提唱から世界が歓迎する公共製品へと変わっている。

「一帯一路」共同建設の提唱は中国が行ったものであるが、そのチャンスと成果は世界全体のものだ。中国はすでに140カ国・32国際組織と200余りの

「一帯一路」共同建設の協力文書に署名している。世界銀行の研究報告では、「一帯一路」共同建設の提唱は、関連国の760万人を極端な貧困から脱却させ、3200万人を中程度の貧困から脱却させ、参加国の貿易を2.8～9.7%増やし、世界貿易を1.7～6.2%増やし、世界の収入を0.7～2.9%増加させるということだ。





人類運命共同体

人類運命共同体の理念は世界各国の相互依存と人類の運命が緊密に関係するという客観的法則を明らかに示すもので、全人類の共通価値を反映し、すばらしい世界を共に作るための最大公約数を探し当てたものである。人類運命共同体は、一種あるいは少数の文明が一方的な主張を推進するものではなく、また世界に統一された行為体をつくりあげてを模索するものでもなく、さらにはある制度が別の制度に取って代る、ある文明が別の文明に取って代るものでもなく、異なる社会制度、異なる意識形態、異なる歴史文明、異なる発展レベルをもつ国が、国際活動の中で目標を一つとし、利益を共に得て、権利を共有し、責任を共に担い、人類社会全体の発展を促進するものである。

現代世界はいまだ厳しい発展の困難に直面していて、多くの人がいまだ貧困・飢餓・疾病の中であがいている。ますます豊かになる国がある一方で、ますます貧しくなる国があり、これでは世界は長らく平和・繁栄を続けること

はできないだろう。中国共産党は、世界の貧困撲滅の進展を加速させ、先進国は発展途上国の発展に対する援助により力を入れ、発展途上国は国内の発展のパワーを増強させる必要があると主張している。中国は自分の出来る限りのことを行い、国際発展協力を続けて行い、南南協力を深化させ、世界の貧困を撲滅するために知恵とパワーを貢献するだろう。

中国は新型コロナウイルス感染症対策の世界協力を積極的に展開し、力の及ぶ限り国際組織とその他の国々に援助を提供し、2021年6月時点で、コロナの影響を受けている発展途上国のコロナ対策および経済社会の発展回復のために20億ドルの援助を提供していて、150余力国と13の国際組織にコロナ対策物資援助を提供し、世界にマスク2900億枚余り、防護服35億着余り、検査キット46億セット余り、100余力国・国際組織にワクチン5億2000万本余りを提供し、31カ国のコロナ対策協力のためにコロナ対策医療専門家チームを合計33回派遣した。



最新動向5

中国は率先して15億元を出資し、昆明生物多様性基金を成立させる

10月11日、国連の生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）第一部が雲南省昆明市で開幕した。この会議は「エコ文明：地球生命共同体の共同建設」をテーマに、10月11日～15日と2022年上半期の二つの段階に分けて昆明で開かれるもので、全面的に国際社会の生物多様性保護分野の経験を総括し、今後10年の世界の生物多様性管理の未来図を探るものである。

習近平主席は12日午後、昆明で行われた生物多様性条約第15回締約国会議の首脳会合にオンライン形式で参加して基調演説を行った。

習主席は、「生物の多様性は地球を活力に満ちたものとし、人類の生存と発展の基盤でもある。生物多様性保護は地球という家を守る助けとなり、人類の持続可能な発展を促進する。昆明で行われる生物多様性条約第15回締約国会議は今後の世界の生物多様性保護の目標を設定し、その方法を明らかにするもので、とても重要な意味を持っている。国際社会は協力を強化し、心をつなげて、全力を傾けて、地球生命共同体を共に構築していかねばならない」と指摘した。

習主席は、中国は率先して15億元を出資し、昆明生物多様性基金を成立させ、発展途上国の生物多様性保護の事業をサポートすると発表した。中国は各方面の基金への出資を歓迎すると呼びかけた。

国連の生物多様性条約は、絶滅に瀕した植物や動物を保護し、地球上の多種多様な生物資源を最大限に保全して、それにより現代や未来の人々に幸福をもたらそうというもので、これは法律的拘束力のある国際条約である。現在、世界で194カ国・機関が署名し、生物の多様性を保証することを承諾している。中国は1992年6月11日に生物多様性条約に署名し、最初期の条約加盟国の一つとなった。



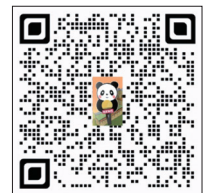
中国共産党について、オンラインで学びたい方にお勧め!

当総領事館は今年いっぱい、中国にまつわる話題が満載の「中国を理解する」オンラインセミナーシリーズを開催します。政府系シンクタンクなど中国の各分野の権威ある専門家が勢揃いし、中国事情や関連する機微な話題について詳しく解説します。

セミナーは合計10回行われ、テーマは中日関係、中国発展戦略、中国経済社会発展の現状と展望、習近平外交思想と中国の特色ある大国外交、一帯一路、中米関係、新疆にかかわる問題、香港にかかわる問

題、海洋問題、台湾問題の予定です。メディアを通さずに、生の中国情報をじかにキャッチできる貴重なチャンスですので、お見逃しなく!

皆様から多大なご支持を賜り、すでに6回のセミナーが成功裏に終了しています。これらの録画は当館公式YouTubeチャンネルにすべてアップされています。より詳しい情報は当館ホームページをご覧ください!



中華人民共和国駐大阪総領事館
〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町3-9-2
連絡先: 06-6445-9481 (代表)



総領事館
Twitter



総領事
Twitter



総領事館
Facebook



総領事館
YouTube



総領事館
TikTok



総領事館
HP

制作協力: 人民中国雑誌社